

2020年旗開きにOB会員14名が参加

安倍政権退陣！

非正規労働者の裁判勝利に向けてたたかう

1月10日南5条西3丁目居酒屋「月夜のためき」で工藤札幌支部書記長の司会で2020年の旗開きが開催されました。

開会の挨拶で飯田委員長は「OB会員の皆さんの顔を見ると元気がでる。今年は安倍政治の糾弾・退陣と非正規労働者の裁判勝利に全力でたたかいたい」と訴えました。

OB会から代表して上田会長が「同期で退職した人の多くは局長になって退職した。しかし今年の年賀状は今後欠礼すると書いてある。現役時代職員に対して年賀のノルマを押し付けて今はもうやめるとは何事か、怒りを感じている。職場にたたかう労働組合が何としても必要、応援していきたい」と挨拶しました。

二宮道本部副委員長の乾杯で宴会が始まり余興では苫小牧支部の支部長であった三浦さんの手品が宴会を大いに盛り上げました。



郵政労働契約法2.0条二次裁判訴訟募金のお願い

2013年からたたかった非正規労働者の待遇改善裁判で、昨年東京地裁・高裁と大阪地裁・高裁で「現状は同一労働格差賃金であり、住居手当・扶養手当・年末年始勤務手当・夏季冬季休暇を支給するのが適当」と判断されました。しかし11名の原告団しか効力が及ばないため、改めて全国で「集団訴訟」を行うことにしました。全国で働く非正規労働者の労働条件を変え、全ての労働者の労働条件を守り、改善することにつながる大きな意義のあるたたかいです。

今回の二次訴訟は前例のない全国160名を超える大原告団（北海道は6名）となり莫大な裁判費用がかかります。郵政産業ユニオンは、中央本部を中心に全国地本で大原告団を支え勝利に向けて奮闘する決意です。たたかいの意義をご理解いただき二次訴訟の募金をお願いいたしますので、OB会員皆様の積極的な熱いご支援を心からお願いいたします。

同封の振替用紙にてご送金いただけますようお願いいたします。

2020年1月

郵政産業ユニオン北海道地方本部委員長 飯田勝則